

常に情熱を持って 新しいことに挑戦し続ける

呼吸器科 新設

呼吸器疾患は肺炎などの感染症、気管支喘息、COPDなどの気道疾患、そして肺癌、悪性胸膜中皮腫などの腫瘍性疾患など多岐にわたります。なのに呼吸器の専門医が少ないです。特にこの地域は呼吸器過疎といってもいいほど呼吸器科医がいません。私は40年にわたって外科疾患、内科疾患問わず呼吸器診療に従事してまいりました。この地域の呼吸器診療を少しでも充実したものになるように微力ですが尽力したいと考えています。

新任医師 紹介



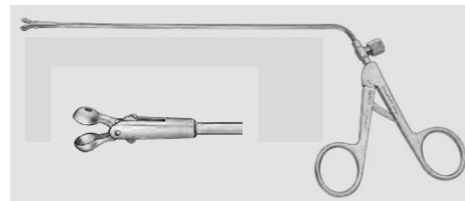
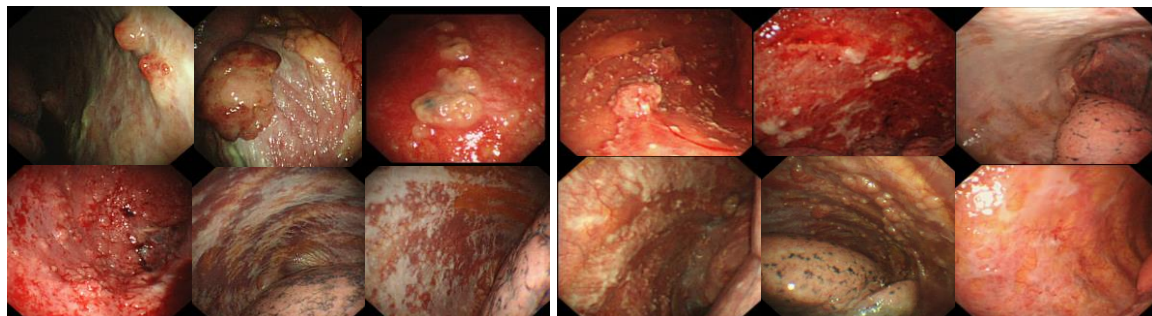
呼吸器内科医 部長

塩田 哲広 しおた てつひろ

私は若い先生方を指導するときに好んで使う言葉があります。真実は常に未来にある。それは誰もわからない。でも今は正しいと思うことを信じて進むしかない。これからは皆さんと一緒に新しい四国中央市の呼吸器診療を作っていきたいと考えています。よろしくお願いします。

局所麻酔下胸腔鏡検査

これまでに施行した局所麻酔下胸腔鏡検査の症例数は500を数えます。経験を重ねると色々なことが出来るようになってきます。壁側胸膜を直接露出させて開窓する方法で胸水がなくても胸膜病変が疑われると検査を施行しています。通常の生検鉗子であれば小さい検体しか採取できませんが、縦隔鏡用の鉗子を別に挿入して十分量の組織を採取するようにしています。


 縦隔鏡検査用硬性生検鉗子
 K17970ラウンドジョー
 (STORZ®)


肺癌

悪性胸膜中皮腫

外来診療担当表

	午前	午後
月	塩田	-
火	-	-
水	-	-
木	-	塩田
金	-	塩田
土	-	-

CTガイド下生検

私が初めてCTガイド下生検を実施したのは2004年2月5日でした。それから現在までに1000例を超える症例を行ってまいりました。検査は基本外来で施行し、肺野末梢病変で8~9mmの小さな病変でも診断率は73%と高いです。他肺葉を経由して穿刺したり、対側から縦隔を経由して穿刺したり、人工気胸を作成して肺を穿刺することなく縦隔病変の生検を行ったりユニークな方法を多数開発し2019年『あなただけに教えます。CTガイド下肺生検のコツ』を上市しました。



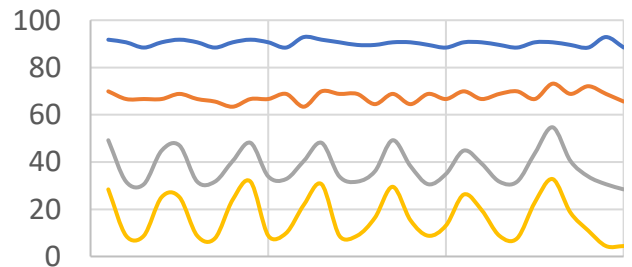
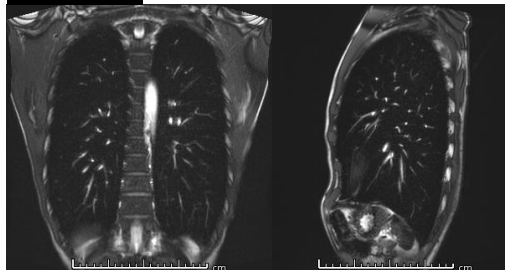
左肺に人工気胸を作成して縦隔を経由して対側の病変のCTガイド下生検を施行



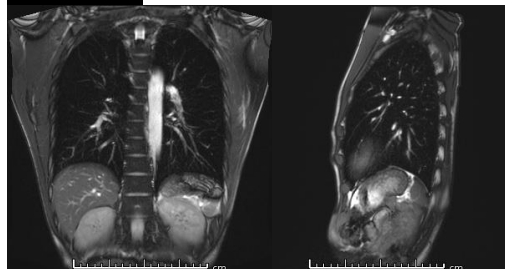
シネMRI

シネMRIでは呼吸不全患者の胸壁と横隔膜の動きを左右別々に観察することが可能です。現在胸壁の運動、横隔膜の運動を自動で定量化するソフトの開発を目指しています。

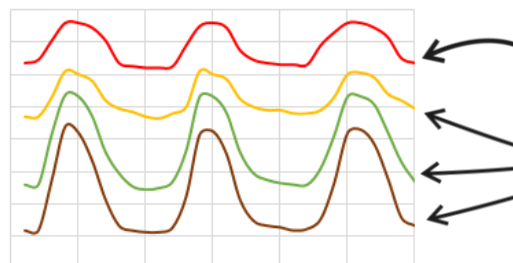
吸気時



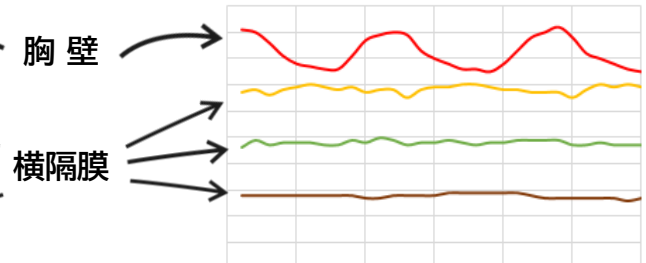
呼気時



呼吸によって横隔膜や胸壁はダイナミックな動きをします。この横隔膜の動きと胸壁の動きを左右別々に定量化してグラフにしています。今はまだ熱心な技師さんの手作りですが、自動化して製品化できないか奮闘しています。



健常者



COPD

横隔膜運動が著しく制限されている

予 約

月~金 8:30~17:30

地域医療介護連携課

お問い合わせ電話番号

0896-29-5704